

# CRI MPEG Sofdec

## Sofdec用動画データ 作成マニュアル

1998年09月 15 日

Ver . 070

1998年09月 30 日

Ver . 075

マルチメディア研究室	'98-09-30	佐口	押見	野沢	
	DATE	DSGN	CHKD	APRV	Number

## 變更履歷

年月日	バ ー ジ ョ ン	変 更 内 容
1998.06.30	0.50	新規作成。
1998.09.15	0.70	ツール使用方法の掲載
1998.09.30	0.75	一部訂正

# 目 次

1. 概要 .....	1
1.1 概要 .....	1
1.2 動作環境 .....	1
1.3 用語説明 .....	1
1.4 データ作成の流れ .....	2
2. 素材の準備 .....	3
2.1 素材のフォーマットと準備方法 .....	3
2.2 素材準備の注意点 .....	4
3. Sofdec データの作成方法 .....	6
3.1 Sofdec データ作成方法 .....	6
4. 詳細説明 .....	7
4.1 Sofdec ビデオエンコーダ .....	7
4.2 Sofdec オーディオエンコーダ .....	12
4.3 Sofdec マルチプレクサ .....	15

## 1. 概要

### 1.1 概要

「Sofdec 用動画データ作成ツール(以下 Sofdec データ作成ツール)」とは Dreamcast 用Sofdecで再生可能な動画データを作成するためのツールです。ツールには次の3つがあります。

- ( 1 ) Sofdec ビデオエンコーダ
- ( 2 ) Sofdec オーディオエンコーダ
- ( 3 ) Sofdec マルチプレクサ

### 1.2 動作環境

Sofdec データ作成ツールは、以下の環境で動作します。

表1.1 動作環境

ハードウェア	MMX 機能付き Pentium (または Pentium ) 搭載 DOS/V 機
OS	MS-Windows95 以降、MS-WindowsNT4.0 以降
メモリ	32MB 以上

### 1.3 用語説明

本書で使用する用語の説明をします。

表1.2 本書で使用する用語

用語	意味
Sofdec データ	Sofdec for Dreamcast で再生可能な動画ファイル。
素材ファイル	動画の圧縮元のファイル。ビデオおよびオーディオを含む。AVI ファイルファイル。
ビデオストリーム	素材ファイル内のビデオを圧縮したファイル。MPEG1 ビデオファイルフォーマット。
オーディオストリーム	素材ファイル内のオーディオを圧縮したファイル。SofdecAudio ファイルフォーマット。
エンコーダ	圧縮するためのツール。ビデオを圧縮するツールをビデオエンコーダ、オーディオを圧縮するツールをオーディオエンコーダと呼ぶ。
マルチプレクサ	ビデオストリームとオーディオストリームを結合し、Sofdec データを作るツール。
フレーム	素材ファイルに含まれるビデオの1枚分の画像を示す。
フレームレート	素材のビデオの記録周波数。ビデオが1秒あたり、何フレームの画像で構成されるかを示す単位。
フレームサイズ	ビデオの画像サイズ。横と縦のピクセル数で示す。
ピクチャレート	ビデオストリームに含まれるビデオの再生周波数。出力時に、1秒あたり、画像を何枚表示するかを示す単位。
ペルアスペクト比	画面に表示される1つの画素の、縦横サイズ比。NTSCは0.91:1、VGAは1:1となる。通常「縦÷横」で示され、NTSCの場合は1 / 0.91 = 1.0950となる。

## 1.4 データ作成の流れ

Sofdec データ作成の流れを図1.1に示します。

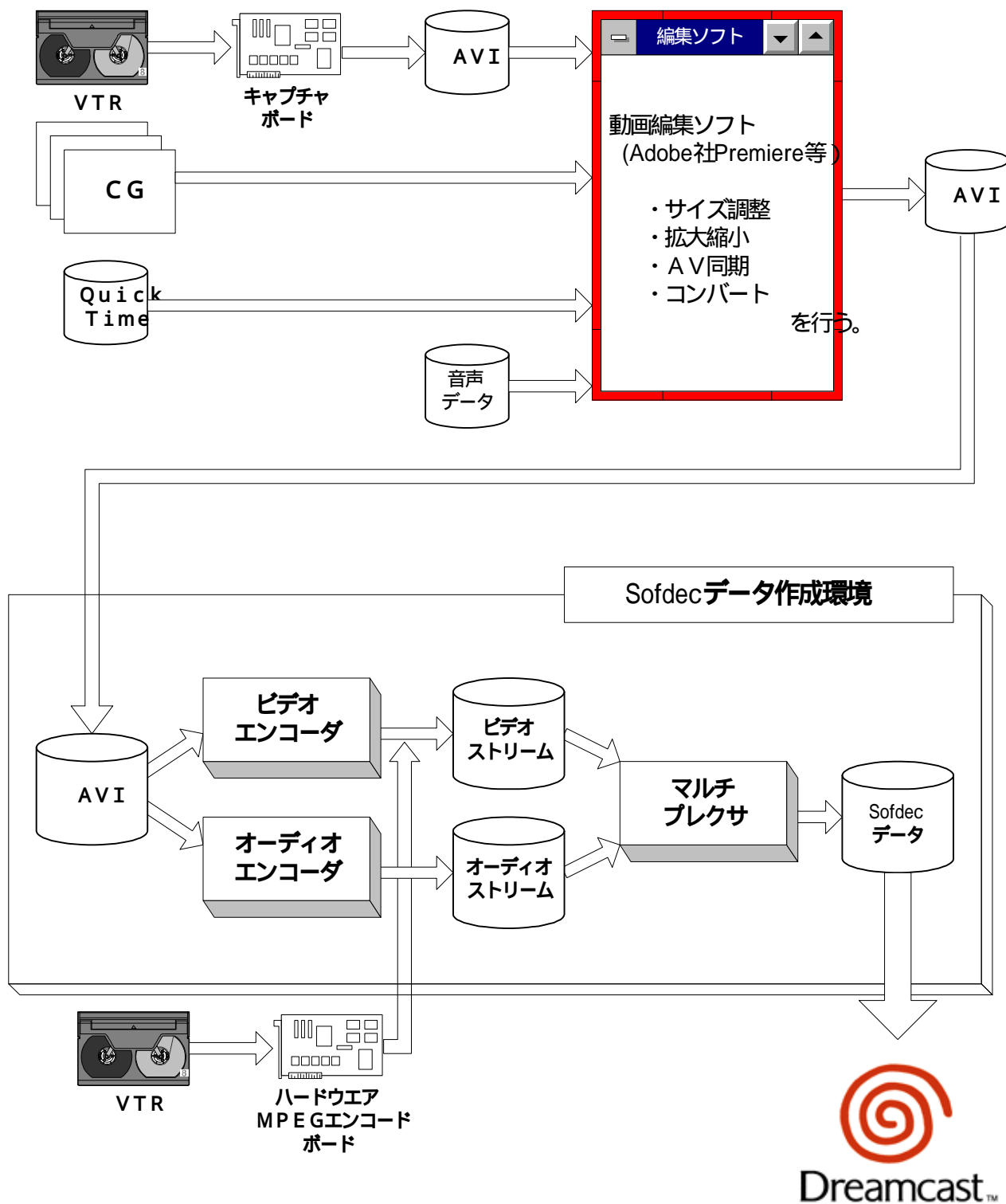


図1.1 データ作成の流れ

## 2. 素材の準備

### 2.1 素材のフォーマットと準備方法

#### (1) ファイルフォーマットについて

Sofdec データの素材ファイルは AVI ファイルフォーマットを標準とします。素材ファイルは 次の条件で作成する必要があります。

表2.1 映像作成時の条件

項目	内容
ファイルフォーマット	AVI ファイルフォーマット(Video for Windows)
画像サイズ	128 × 32 ~ 640 × 480( 32 × 16pixel 単位)
フレームレート	60fps 以下。29.97fps 推奨 ( 1/1000fps で指定可能)
ペルアスペクト比( 1)	1.0950(ITU-R601 525Line)
色数	24bitColor( 約1600万色)
圧縮	非圧縮推奨 1

1:ペルアスペクト比とは、画面上の画素の縦横サイズ比(縦÷横)です。

表2.2 音声作成時の条件

項目	内容
ファイルフォーマット	AVI ファイル内に記録することを推奨 (WAV、AIFF フォーマットにも対応。)
サンプリング周波数	44100Hz、22050Hz、14700Hz、11025Hz、8820Hz、7350Hz、6300Hz に対応。
量子化ビット数	8bit または 16bit
音声チャンネル	モノラルまたはステレオ

#### 推奨値

画像サイズ	320 × 224 ~ 320 × 240
フレームレート	29.97fps、30fps
音声	44.1KHz 16bit ステレオ

## 2.2 素材準備の注意点

### (1) ピクチャレートについて

ビデオストリーム内のピクチャレート情報は、次の値に対応しています。  
動画を作成する場合、対応ピクチャレートで素材を作成して下さい。

表2.3 対応ピクチャレート

対応ピクチャレート	23.976fps, 24fps, 25fps, 29.97fps, 30fps, 50fps, 59.94fps, 60fps
-----------	--

おもとの素材が、対応ピクチャレートと異なる場合、映像編集ソフトを用い、次のように変換します。

素材のフレームレートが、対応ピクチャレートと同じ値を持つ場合。

例: 23.976fps, 24fps, 25fps, 29.97fps, 30fps, 50fps, 59.94fps, 60fps

対応: 変換しない。

素材のフレームレートが、対応ピクチャレートの約数の場合

例: 10fps, 12fps, 15fps

対応: フレームレートの倍数のピクチャレートに変換する。

10fps->30fps, 12fps->24fps, 15fps->30fps

その他のフレームレート

対応: 出力時(NTSCを想定する場合は、29.97fps)に変換する。

なお、製品版の Sofdec ビデオエンコーダは、任意フレームレートに対応します。

評価版のフレームレートのデフォルト値は、30fps に設定してあります。

### (2) ペルアスペクト比について

ビデオテープ素材などの映像信号を、キャプチャボードを使って取り込む場合、ペルアスペクト比(画素の縦横比率)に対する注意が必要です。また、CGを作成する場合も、レンダリング時にペルアスペクト比に対する配慮が必要です。DreamcastはTVに映像を出力する場合、ペルアスペクト比は、ビデオと同様NTSC準拠です。(画像サイズはVGAと同じ640×480ですので、注意が必要。)

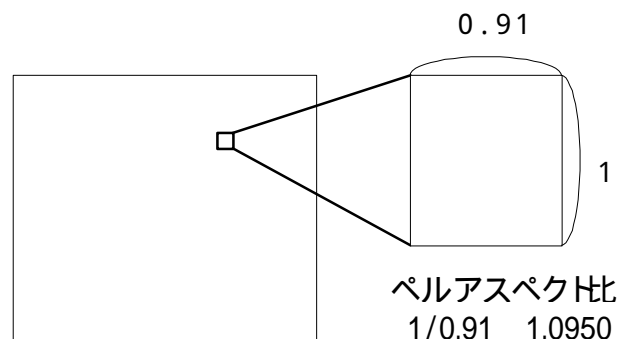
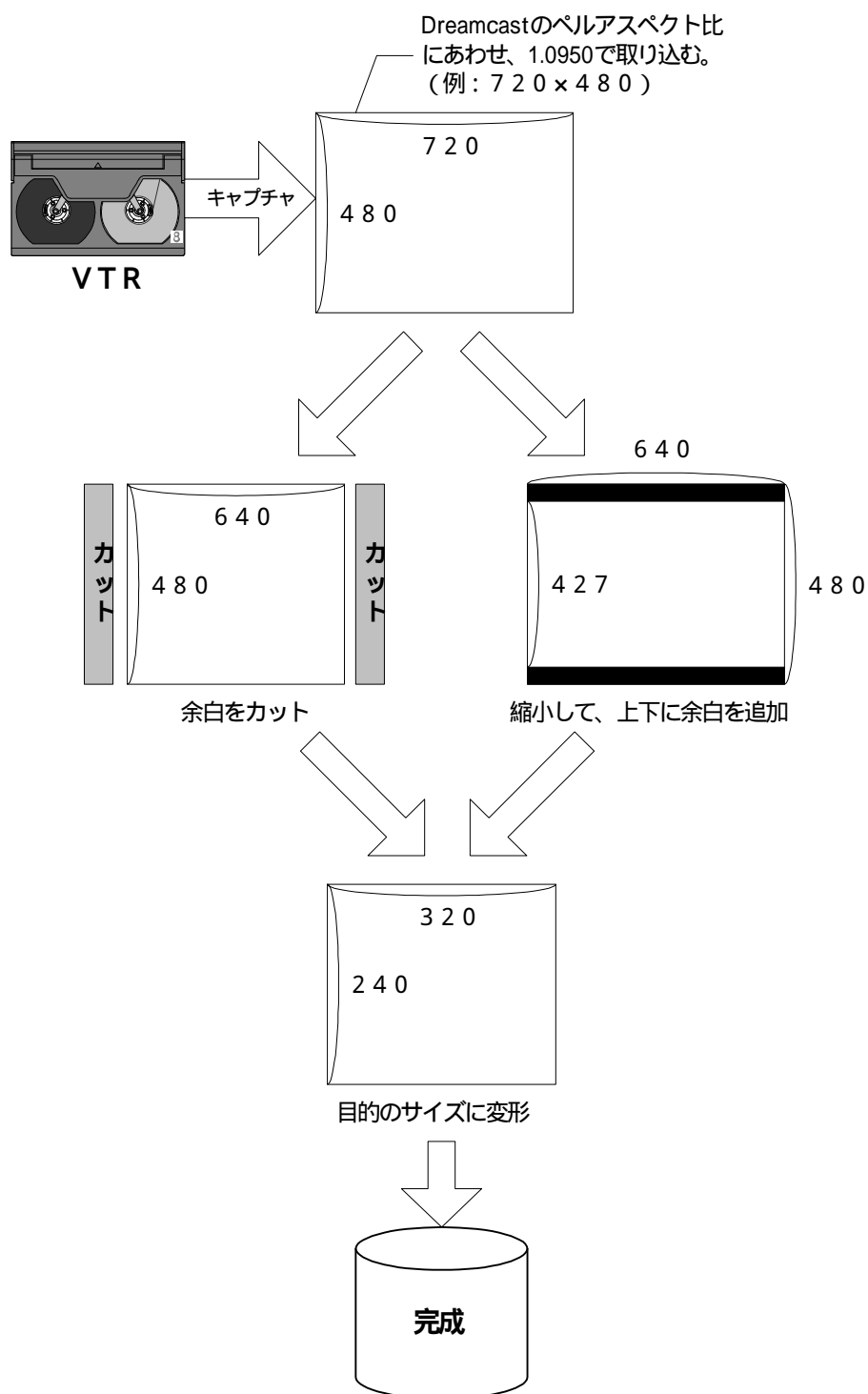


図2.1 NTSC(Dreamcast)のペルアスペクト比

# 【例: VTR素材から320×240の動画を作成する場合】



拡大縮小は、画質劣化をともないます。出来る限り一度で目標のサイズになるよう 変換してください。

### 3. Sofdec データの作成方法

Sofdec データの作成方法を示します。

#### 3.1 Sofdec データ作成方法

Sofdec データは、素材となるビデオおよびオーディオをそれぞれ圧縮し、1つのファイルにまとめたものです。手順は次の3つに分かれます。

- (1) ビデオストリームの作成
- (2) オーディオストリームの作成
- (3) マルチプレクス

##### (1) ビデオストリームの作成

ビデオストリームは、素材となるAVIファイル内のビデオを圧縮したファイルです。AVI ファイルフォーマットの素材ファイル内の映像を、'sfvencd.exe' プログラムにより圧縮します。操作方法は、以下のように引数に素材ファイル名を引数として、コマンドプロンプトより実行してください。カレントディレクトリに拡張子が'.M1V'になったファイルが生成されます。

```
C:\TEMP>sfvencd -in=sample.avi 'sample.avi'のビデオが 'sample.m1v'に圧縮される
```

また、ビットレートの指定や、動き補償演算方式の指定などを、パラメータで指定することが可能です。

【例: Bitrate=4Mbit/sec で、リリース用データ'movie450.m1v'を作成する場合】

```
C:\TEMP>sfvencd -in=sample.avi -out=movie450.m1v -biterate=4000000 mode=RELEASE
```

##### (2) オーディオストリームの作成

オーディオストリームは、オーディオを含むAVIファイルフォーマット、または WAV フォーマット等のオーディオ素材ファイルを、'sfaencd.exe' プログラムにより圧縮したファイルです。操作方法は以下のように引数に素材ファイル名を引数として、コマンドプロンプトにより実行してください。

```
C:\TEMP>sfaencd sample.avi 'sample.avi'のオーディオが 'sample.sfa'に圧縮される
```

##### (3) マルチプレクス

Sofdec データは、ビデオストリーム、オーディオストリームを、マルチプレクス(1つのファイルに結合)したデータです。ビデオデータとオーディオデータを、'sfdmux.exe' プログラムにより結合します。操作方法は、以下のように引数でファイル名を指定し、コマンドプロンプトより実行してください。指定したファイル名で Sofdec データが生成されます。

```
C:\TEMP>sfdmux -S=sample.sfd -A=sample.sfa,SFA -V=sample.m1v,MPV
```

'sample.m1v'と'sample.sfa'がマルチプレクスされ、'sample.sfd'が出力されます。

## 4. 詳細説明

### 4.1 Sofdec ビデオエンコーダ

#### (1) 引数

Sofdec ビデオエンコーダの引数を次に示します。

- ・入出力ファイル指定

- in=filename 入力ファイル

- out=filename 出力ファイル

- ・エンコードパラメータ

- start=value エンコード開始フレーム番号(デフォルトは0)

- end=value エンコード終了フレーム番号(デフォルトは - 1 (終端))

- mode=mode エンコードモード(デフォルトは NORMAL )

- =DEBUG 高速エンコードモード(画質は最低、処理は高速)

- =NORMAL 通常エンコードモード(画質、処理速度ともに普通)

- =RELEASE リリース用エンコードモード(画質は最高、処理は低速)

- =NOENCODE エンコードしない。(素材ファイルの情報表示のみ)

- pr=value ピクチャレート(フレーム/1000 秒で指定。値は 23976,24000,25000,29970,30000,50000,59940,60000 の中から選択。デフォルトは 30000(30fps) )

- bitrate=value エンコードビットレート (ビット/秒単位、デフォルトは 3.6Mbps )

- byterate=value エンコードビットレート(バイト/秒単位、デフォルトは 450KB/sec )

- gop\_n=value GOP周期のN値(Iピクチャ周期、デフォルトは 12 )

- gop\_m=value GOP周期のM値(I/P ピクチャ周期、デフォルトは 3 )

- ・その他

- log=mode ログ表示モード(デフォルトは NORMAL )

- =NORMAL 画面に出力。通常表示用。

- =CSV クオリティパラメータをカンマ区切りで出力。データ収集用。

- =NONE 出力なし。バッチ処理用。

- sub=filename サブファイル

## (2) 詳細

### 入出力ファイル

項目	入力ファイル
記述	-in=filename パラメータ : filename 入力ファイルのパス名 値の範囲 : 255 文字までのパス名。ロングファイル名は未対応。 省略 : 不可
機能	素材のファイルを指定する。 素材ファイルのフォーマットについては第2章を参照。

項目	出力ファイル
記述	-out=filename パラメータ : filename 出力ファイルのパス名 値の範囲 : 255 文字までのパス名。ロングファイル名は未対応。 省略 : 可能。省略時は、入力ファイル名の拡張子を".M1V"にしたものになる。
機能	出力するビデオストリームのパス名を指定する。

### エンコードパラメータ

項目	エンコード開始フレーム番号
記述	-start=value パラメータ : value エンコード開始フレーム番号 値の範囲 : 0~(素材の総フレーム数-1) 省略 : 可能。省略時は0。
機能	エンコードを開始するフレーム番号を指定する。 0を指定すると、素材ファイルの先頭のフレームからエンコードを開始する。

項目	エンコード終了フレーム番号
記述	-end=value パラメータ : value エンコード終了フレーム番号 値の範囲 : -1、または エンコード開始フレーム番号~(素材の総フレーム数-1) 省略 : 可能。省略時は-1。
機能	エンコードを終了するフレーム番号を指定する。 -1を指定すると、素材ファイルの終端までエンコードする。

項目	エンコードモード
記述	-mode=mode パラメータ : mode エンコードモード 値の範囲 : DEBUG、NORMAL、RELEASE、NOENCODE のいずれか。 省略 : 可能。省略時はNORMAL。
機能	エンコードモードの指定。 4種類のモードから選択する。 DEBUG : 高速エンコード。画質は最低。 NORMAL : 推奨品質でのエンコード。エンコード速度は中速。 RELEASE : 最高品質でのエンコード。エンコード速度は最低。 NOENCODE : エンコードを行わない。

項目	ピクチャレート
記述	-pr=value パラメータ : value ピクチャレート 値の範囲 : 23976,24000,25000,29970,30000,50000,59940,60000 の中から選択 省略 : 可能 省略時は 30000(30fps)。
機能	ビデオストリームのピクチャレートを指定する。 値は 1000 秒あたりに表示するフレーム数(frame/1000sec)。

項目	エンコードビットレート(ビット/秒単位)
記述	-bitrate=value パラメータ : value ビットレート 値の範囲 : 4K ~ 320Mbps 省略 : 可能 省略時は 3.6Mbps。
機能	ビデオストリームをエンコードする際のビットレートを指定する。 値は bit/sec, 10 進数で表記する。 なお、ビットレートは 1K=1000、1M=1000000 と表現する。

項目	エンコードビットレート(バイト/秒単位)
記述	-byterate=value パラメータ : value ビットレート 値の範囲 : 500 ~ 40Mbyte/sec 省略 : 可能 省略時は 450Kbyte/sec。
機能	ビデオストリームをエンコードする際のビットレートを指定する。 値は Byte/sec, 10 進数で表記する。 なお、ビットレートは 1K=1000、1M=1000000 と表現する。

項目	GOP周期のN値
記述	-gop_n=value パラメータ : value GOP周期のN値(Iピクチャ周期) 値の範囲 : 1~64 省略 : 可能 省略時は12。
機能	GOPのN値(Iピクチャ出現周期)を指定する。 N値はM値の倍数でなければならない。

項目	GOP周期のM値
記述	-gop_m=value パラメータ : value GOP周期のM値(I / Pピクチャ周期) 値の範囲 : 1~16 省略 : 可能 省略時は3
機能	GOPのM値(IピクチャまたはPピクチャの出現周期)を指定する。

GOP周期について

MPEG のビデオストリームは、次の3種類のピクチャで構成されています。

Iピクチャ : 俗に言うキーフレームです。

Pピクチャ : Iフレームとの差分フレームです。

Bピクチャ : 前後のI / Pピクチャとの、さらに差分となるフレームです。

通常データの並び順は“IBBPBBPBBPBBIBBPBBPBBPBBIBB.....”のようになります。

N値とは Iピクチャから、次の Iピクチャの周期(上記の例では12) M値は IまたはPピクチャが現れる周期(上記の例では3)を示します。

#### 【例】

N = 12、N = 3

**I B B P B B P B B P B B...**

N = 5、M = 1

**I P P P P...**

N = 1、M = 1

**I I I I I I.....**

N値 M値に対する配慮について

- ・データ量は I > P > B となります。
- ・Bフレームの比率が大きいほど圧縮率を高くすることが可能です。
- ・Iフレームのみにすると、デコード負荷を軽くすることができます。

その他

項目	ログ表示モード
記述	<p>-log=mode</p> <p>パラメータ : mode ログ表示モード</p> <p>値の範囲 : NORMAL、CSV、RELEASE のいずれか。</p> <p>省略 : 可能。省略時は NORMAL。</p>
機能	<p>エンコード時の 進行状況表示テキストの出力形式を設定する。</p> <p>3 種類のモードから選択する。</p> <p>NORMAL: 画面出力用。通常表示用。</p> <p>CSV : クォリティーパラメータをカンマ区切りで出力。データ収集用。</p> <p>NONE : 指定したファイルに記述された引数を読み込みます。</p>

項目	サブファイル
記述	<p>-sub=filename</p> <p>パラメータ : filename サブファイルのパス名を指定。</p> <p>値の範囲 : 255 文字までのパス名。ロングファイル名は未対応。</p> <p>省略 : 可能。省略された場合は ファイルを読み込まない。</p>
機能	指定したファイルに記述された引数を読み込みます。

## 4.2 Sofdec オーディオエンコーダ

### (1) 引数

Sofdec オーディオエンコーダの引数を次に示します。

- ・入出力ファイル指定
  - infile 入力ファイル
  - outfile 出力ファイル(ディレクトリ)
- ・エンコードパラメータ
  - sf=value サンプリング周波数(省略時は 入力データと同じ)
  - ch=value 音声データチャンネル(省略時は 入力データと同じ)
    - =0 左
    - =1 右
    - =2 左 + 右(左右入れ替え) / モノラル
    - =3 左 + 右
  - lcof=value ダウンサンプリングLPFカットオフ周波数(省略時は 自動算出)
  - ldim=value ダウンサンプリングLPF次数(省略時は 自動算出)
- ・エンコード範囲
  - asno=value 開始オーディオサンプル番号(デフォルトは0)
  - aeno=value 終了オーディオサンプル番号(デフォルトは-1 (終端))
  - vsno=value 開始ビデオフレーム番号(デフォルトは0)
  - vsno=value 終了ビデオフレーム番号(デフォルトは-1 (終端))

### (2) 詳細

入出力ファイル指定

項目	入力ファイル
記述	infile パラメータ : infile 入力ファイルのパス名 値の範囲 : 255 文字までのパス名。ロングファイル名は未対応。 省略 : 不可。
機能	第1引数にファイル名を記述し 素材ファイルを指定する。 素材ファイルのフォーマットについては第2章を参照。

項目	出力ファイル(ディレクトリ)
記述	outfile パラメータ : outfile 入力ファイルのパス名 値の範囲 : 255 文字までのパス名。ロングファイル名は未対応。 省略 : 可能。省略時は 入力ファイル名の拡張子を“.SFA”にしたものとなる。
機能	第2引数にパス名を記述し 出力ファイル名を指定する。 省略された場合、出力ファイルは、カレントディレクトリに出力され、ファイル名は、入力ファイルの拡張子を“.SFA”にしたものになる。 パス名が“.SFA”を含む場合、パラメータは出力ファイル名と見なされる。 それ以外の場合、パラメータはファイルを出力するディレクトリ名と見なされる。

## エンコードパラメータ

項目	サンプリング周波数
記述	-sf=value パラメータ : value サンプリング周波数 値の範囲 : 44100Hz、22050Hz、14700Hz、11025Hz、8820Hz、7350Hz、6300Hz 省略 : 可能。省略時は、素材と同じ周波数となる。
機能	圧縮する音声の、再生サンプリング周波数を指定する。 省略された場合、素材のサンプリングレートと同じ値になる。

項目	音声データチャンネル
記述	-ch=value パラメータ : value 音声出力データチャンネル指定値 値の範囲 : 0~4 の値 省略 : 可能。省略時は、素材の音声出力データチャンネルを保持する。
機能	圧縮する音声の、出力データチャンネルを指定する。 次の4 つから選択する。 0: 左 1: 右 2: 左 + 右(左右入れ替え) / モノラル 3: 左 + 右

項目	ダウンサンプリングLPFカットオフ周波数
記述	-lcof=value パラメータ : value カットオフ周波数 値の範囲 : 50Hz ~ サンプリング周波数の1 / 2、の値 省略 : 可能。省略時は、自動的に算出。
機能	ダウンサンプリング時のローパスフィルタの、カットオフ周波数を指定する。

項目	ダウンサンプリングLPF次数
記述	-ldim=value パラメータ : value 次数 値の範囲 : 1~20 の値 省略 : 可能。省略時は、自動的に算出。
機能	ダウンサンプリング時のローパスフィルタの次数を指定する。

## エンコード範囲

項目	開始オーディオサンプル番号
記述	-asno=value パラメータ : value 開始オーディオサンプル番号 値の範囲 : 0~(オーディオの総サンプル数-1) 省略 : 可能。省略時は 0。
機能	オーディオエンコードを開始する位置を指定する。 サンプル単位で指定可能。 開始位置をこのパラメータで指定した場合、終了位置は -aeno で指定すること。

項目	終了オーディオサンプル番号
記述	-aeno=value パラメータ : value 終了オーディオサンプル番号 値の範囲 : -1または 0~(オーディオの総サンプル数-1) 省略 : 可能。省略時は -1。
機能	オーディオエンコードの終了位置を指定する。 サンプル単位で指定可能。 開始位置を-asno で指定する必要がある。 -1 を指定した場合、終端までエンコードを行う。

項目	開始ビデオフレーム番号
記述	-vsno=value パラメータ : value 開始ビデオフレーム番号 値の範囲 : 0~(ビデオの総フレーム数-1) 省略 : 可能。省略時は 0。
機能	オーディオエンコードを開始する位置を、ビデオのフレーム番号で指定する。 入力ファイルが、ビデオとオーディオを持つ、AVIファイルである場合のみ使用可能。 開始位置をこのパラメータで指定した場合、終了位置は -veno で指定すること。

項目	終了ビデオフレーム番号
記述	-veno=value パラメータ : value 終了ビデオフレーム番号 値の範囲 : -1または 0~(ビデオの総フレーム数-1) 省略 : 可能。省略時は -1。
機能	ビデオエンコードの終了位置を、ビデオのフレーム番号で指定する。 入力ファイルが、ビデオとオーディオを持つ、AVIファイルである場合のみ使用可能。 開始位置を-vsno で指定する必要がある。 -1 を指定した場合、終端までエンコードを行う。

## 4.3 Sofdec マルチプレクサ

### (1) 引数

Sofdec マルチプレクサの引数を次に示します。

#### ・パラメータ

- S=filename 出力ファイル
- A=filename,para オーディオストリーム
  - =filename,SFA オーディオストリームヘッダを読み込む。
  - =filename,value 指定したビットレートでマルチプレクスする。
- V=filename,para ビデオストリーム
  - =filename,MPV ビデオストリームヘッダを読み込む。
  - =filename,value 指定したビットレートでマルチプレクスする。
- C=string コメント(デフォルトは空欄)
- PT=mode パケットタイプ(デフォルトは固定)
  - =FIX 固定サイズ
  - =VARY 可変サイズ
- PS=value パケットサイズ(デフォルトは 2048)
- NH Sofdecヘッダを付加しない
- SUB=filename サブファイル指定

## (2) 詳細

### パラメータ

項目	出力ファイル
記述	-S=filename パラメータ : filename 出力ファイルのパス名 値の範囲 : 255 文字までのパス名。ロングファイル名は未対応。 省略 : 不可。
機能	出力するファイルのパス名を記述する。

項目	オーディオストリーム
記述	-A=filename,param パラメータ : filename オーディオストリームのパス名 param ビットレート、または SFA 値の範囲 : 56700 ~ 396900。 省略 : 不可。
機能	オーディオストリームのパス名を設定する。 また、オーディオストリームのビットレートを設定する。 SFA と記述すると、オーディオストリームを自動的に解析し、値を求める。

項目	ビデオストリーム
記述	-V=filename,param パラメータ : filename ビデオストリームのパス名 param ビットレート、または MPV 値の範囲 : 4K ~ 320Mbps。 省略 : 不可。
機能	ビデオストリームのパス名を設定する。 また、オーディオストリームのビットレートを設定する。 MPV と記述すると、ビデオストリームを自動的に解析し、値を求める。

項目	コメント
記述	-C=string パラメータ : string Sofdec データのヘッダに書き込まれるコメント 値の範囲 : 128 バイト以内の文字列 省略 : 空欄
機能	Sofdec データのヘッダに書き込まれ、コメント文字列を指定する。 半角で 128 文字、全角で 64 文字まで記述可能。 -NH オプション使用時は、設定不可能。

項目	パケットタイプ
記述	-PT=mode パラメータ : mode パケットタイプ 値の範囲 : FIX または VARY 省略 : 可能 省略時は FIX。
機能	マルチプレクスするデータのバック形式を指定する。 固定長バック方式と、可変長バック方式が選択可能。

項目	パケットサイズ
記述	-PS=value パラメータ : value パケットサイズ 値の範囲 : 2048 ~ 65536 省略 : 可能 省略時は 2048。
機能	固定長バック方式採用時、マルチプレクスするデータのバックサイズを指定する。 パケットタイプ設定で、固定長バック方式が指定されていなければ無効。

項目	Sofdecヘッダを付加しない
記述	-NH パラメータ : なし 値の範囲 : なし 省略 : 可能 省略時は Sofdec ヘッダを付加する。
機能	他の MPEG デコーダで再生できるよう Sofdec ヘッダを付加しないファイルを出力する。 パケットタイプ設定で、固定長バック方式が指定されていなければ無効。

項目	サブファイル
記述	-SUB=filename パラメータ : filename サブファイルのパス名を指定。 値の範囲 : 255 文字までのパス名。ロングファイル名は未対応。 省略 : 可能 省略された場合は、ファイルを読み込まない。
機能	指定したファイルに記述された引数を読み込みます。